

## 令和6年度第2回大阪府立労働センター指定管理者評価委員会議事概要

1 日 時：令和7年1月14日（火）午後1時15分～午後3時00分

2 場 所：府立労働センター（エル・おおさか）本館10階 会議室

3 出席者：出席委員5名（定数5名）

大阪府立労働センター指定管理者評価委員会 委員名簿のとおり

※「大阪府立労働センター指定管理者評価委員会規則」第4条の規定により、過半数以上出席のため委員会が有効に成立

### 4 決定事項

議題（1）令和6年度大阪府立労働センターの指定管理者運営業務に係る評価について

- ・ 「令和6年度指定管理者運営業務評価票」及び「利用者満足度調査結果」について、事務局及び指定管理者より説明後、質疑応答（主な意見は5のとおり）
- ・ 本日の議論を踏まえ、当委員会による「指摘・提言」に取りまとめた上で、最終的な評価票（案）を事務局にて作成
- ・ 作成された評価票（案）は各委員に確認後、委員長に一任して成案とする

議題（2）年度評価について

- ・ 今年度の施設所管課の年度評価は「B」となることを説明

議題（3）今後のスケジュールについて

- ・ 議事要旨・対応方針を作成し、委員に確認後、公表予定

議題（4）その他

## 5 主な意見・質疑

### I 提案の履行状況に関する項目について

委員 ) 数値目標の未達は結果であって、結果に至るプロセスが大事。今回、目標設定した facebook について、登録によってどのようなメリットがあるか。

委員 ) SNS の活用について、ウェブでの申し込みと連携できればよいのではと思う。例えば、LINE アカウントを登録してもらい、そこから直接申込ができるようにするなど。また、環境問題に対する取組みについて、長期的な観点から建物の ZEB 化を考える必要がある。公共施設だからこそチャレンジする価値があると思う。

委員 ) 会議室を探す際に、SNS で検索した後、ホームページに行って申し込みをするよりも、SNS のページから直接予約できる方が効率的と言う学生が多い。

また、大ホールに特化したランディングページから申し込みページの作成について効果があったとのことだが、実感などあったのか。リスティング広告は効果を得るのが難しいと思う。

指定管理者 ) 大ホールは利用者層が限られているので、ランディングページから申し込みページの作成によって、多くの申し込みがあったとは言い難い。しかし、1 月実施予定の会議室のリスティング広告は、利用者層が広いため、効果の有無を検討できると考えている。

委員 ) 3 月に個人情報適正管理委員会が開催予定とのことだが、昨年度の会議ではどのようなことを議論したのか。

指定管理者 ) 発生した個人情報流出事例を共有し、今後の必要な対応を話し合った。また、プライバシーマークの取得に向けて、不備や改善点等を話し合った。

委員 ) 「NPO 法人 Homedoor と連携したホームレス支援」として、シェアバイク設置とある。この利用者は限定されているのか。

指定管理者 ) 利用者は限定されておらず、どの自転車も使える。

委員 ) ホームレス支援とのことだが、彼らにとってどのような魅力があるのか。

指定管理者 ) 自転車の修理技術を持っている方がいたり、PC が得意な方に仕事の提供などを行っている。また、生み出された利益は Homedoor が行っている住宅の提供など、ホームレスの自立支援に充てている。

## Ⅱ さらなるサービスの向上に関する事項について

委員 ) 会議室の利用率の向上について、午前の利用率を上げることが重要と考えるが、どのような対策が考えられるか。例えば、午前の利用料金を下げるなど。

指定管理者 ) これまでは午前の利用も多かったが、最近の傾向では、午後に利用者が集中している。利用者に聞いたところ、会議時間を短くしたため、利用を午後だけにした、といった意見などを聞いている。

委員 ) 新規利用者の獲得のために、例えば、午前の利用時間を「9時から11時」や「10時から12時」までと、柔軟に設定することも考えてみてはどうか。

また、今年度の間に複数回利用されている方にアンケートを取る際は、会議室の利用にあたって、利用者が行った活動に対し、エル・おおさかで実施したことによる利便性や貢献度などを調査すべきだと思う。

事務局 ) アンケート結果を見ると満足度が高いことが読み取れるが、利用率は下がっているという矛盾があり、どこに課題があるのかを明らかにする必要がある。

また、アンケートを提出する人は、回答した内容のフィードバックを期待している部分もある。アンケート内容を踏まえた取組みを見せていくような工夫も考えていければと思う。

いずれにせよ、利用率を上げていくために、エルおおさかの強みである「低価格(low price)、立地(location)、多様な会議室(lineup)」を活かして、新規利用者の獲得及び継続的利用の促進に努めていきたい。

委員 ) 利用者が空調設備に不満があることは、次回の利用に直結する問題と考えるので、対策しておくべきではないか。

事務局 ) エル・おおさかでは、部屋ごとの空調の温度設定ができない。空調システムの新調は、所有者である大阪府が行う工事であり、中長期的な戦略と合わせながら、投資を考えていく必要がある。

委員 ) アンケートでは、廊下だけが寒いなど、場所ごとに寒暖差があるような記述が見受けられる。

事務局 ) 人の集積状況や部屋ごとの日差しによって、体感温度は変わると考えられる。

委員 ) 寒暖差があるのなら、ファンなどを利用して、その差を埋めることはできないか。

事務局 ) ファンなどの備品は、指定管理者と今後相談したい。

委員 ) アンケートによれば、エル・シアターの利用目的について、音楽や演劇、舞踏といった芸術分野の目的での利用が少なく、PR 力が弱いように感じる。エル・シアターの単価は高いので、芸術分野の利用者層を獲得できれば、収益に大きく繋がると思う。

指定管理者 ) 今年度は、土日にダンスでの利用ケースが多い。昨今、子どもの習い事でダンスの人気があるようで、その発表会でエル・シアターを利用するケースが増えてきている。大阪労働協会としても、個別にダンススクールにエル・シアター利用の営業も検討している。

来年度エル・シアターが（工事により）一定期間閉鎖されるので、その間にダンススクールを開拓し、閉鎖期間終了後に利用していただけるよう尽力する。一方、月亭方正の落語会は大盛況であったことから、引き続き新規利用者層を開拓していきたい。

委員 ) アンケートを見ると、トイレなど、施設の清潔さ（ソフト面）に不満を持つ意見が見られるが、どのように考えているか。

指定管理者 ) 費用と相談しながら、トイレの改修など、清潔さを向上させていこうと思う。また、アンケートより、椅子の座面がきれいではないとの声が多いが、適宜洗浄をしたり、費用に余裕があるときは、新調など行っている。

委員 ) 「みんなのトイレ」を新たに作ったとのことだが、その PR 等を行っているのか。障がい者の方は施設を探す際に、トイレの設備面を気にする方が多いので、PR したほうが良いのではないか。誰でも使えるトイレがあることの周知は、利用者の安心にもつながる。また、改修されたトイレのある場所を掲示したほうがよいと思う。

指定管理者 ) 承知した。

委員 ) 初回の利用者で、次回も利用したいと答えている人が 80%を超えている。2回目以降の利用者だと、次回も利用したいと答えている人が 100%なので、差の 20%の要因がわかるようなアンケートになっているとよいではないかと思う。

また、利用料金は、大阪にある会議室の中では必ずしも安い方とは思わないので、市場調査など、根拠を持って利用料金の設定をしてほしい。

指定管理者 ) 承知した。

委員 ) (今年度オープンした)南館1階のカフェの運営状況はどのようなものか。

指定管理者 ) 現状では、売上目標には到達しておらず、利用者増加に向けた工夫や周知方法を事業者と共に考えているところである。例えば、会議室にポットでのケータリングサービスや、その際のチラシでのPRも考えている。

### Ⅲ 適正な管理業務の遂行を図ることができる能力及び財政基盤に関する項目

委員 ) 評価軸をどこに定めるのかという話にはなるが、収支計画の内容、適格性及び実現の程度について、収益目標の大幅な赤字から、見込みではあるが小さな赤字へと抑えた点は評価でき、収益の確保という点では、A評価でもよいと感じた。

委員 ) 今回の評価としては、目標を下回っていることから、定めた基準どおりB評価としたが、来年度評価基準の設定に向けて検討対象となると思う。

委員 ) 5年間の計画自体が、最終年度で黒字になればよいため、単年度で赤字であるかよりも、目標数値の達成や、改善状況を評価のポイントとしたらよいと思う。

事務局 ) 関連して、P16の安定的な運営が可能となる基盤について、この項目では法人の財務基盤の安定性を見ている。今年度の評価では、単年度の収支だけを見ており、資産などは入っていない。私たちとしても、この項目だけで十分かと悩みながら作成したものであり、多角的な視点等が必要であれば、来年度以降にご相談させていただきたい。

委員 ) BSを見ることも大事。事業体の体力によって、赤字であっても致命的な場合もあれば、そうでない場合もあるので、長期的な安定性や効率などを見て判断するとよいと思う。

以上